

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	19204
----------	-------

1. 開設大学	広島女学院大学		開催方法	■対面 ( 本学 )		
				□オンライン (同時・録画)		
2. 科目名	日本文学と大正時代—『鬼滅の刃』をもっと楽しもう!—					
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学	
3. 担当教員	足立直子 (人文学部 日本文学学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和3年8月4日 (水) ~ 令和3年8月4日 (水) 13時00分 ~ 16時10分 (90分×2回)					
個別開講日	1回目	8/4	2回目	/	3回目	/
	4回目	/	5回目	/	6回目	/
5. 募集定員	30人					
6. 科目内容・ 授業計画	<p>皆さんは、漫画・アニメ・小説などに触れる時、その時代背景について考えられたことはありますか。実はこれらには、その時代の特徴がいたるところに散りばめられています。</p> <p>昨年、映画化もされ今も大ヒットし続けている『鬼滅の刃』の舞台は大正時代です。明治と昭和という両時代に挟まれた大正は、14年半という短いながらも、日本近代史において、非常に重要な側面を持つ魅力的な時代でした。「大正デモクラシー」という言葉が象徴するように、多くの人々が自由と平等を求めて立ち上がったこの時代は、『鬼滅の刃』の炭次郎たちが鬼たちの理不尽な暴力に決して屈服せず、皆が力を合わせ闘い続けた姿とも重なるものがあります。</p> <p>この授業を通して、皆さんが漫画・アニメ・小説、そして日本文学に触れる喜びを知っていただくきっかけが提示できればと考えています。</p>					
	<p>1時限目 13:00~14:30 「大正文学における家制度」</p> <p>炭治郎の有名な台詞に「すごい痛いのを我慢してた!! 俺は長男だから我慢できたけど次男だったら我慢できなかった」というものがあります。炭治郎の心を支えた「長男」であることの意識は、この時代の「家制度」を知ることによって更に理解が深まります。他の大正文学の例を読むことを通して、大正文学における家制度について学びましょう。</p> <p>2時限目 14:40~16:10 「大正文学における女性の社会進出」</p> <p>大正時代においては女性の存在がクローズアップされ、少女雑誌や洋装などさまざまな女性文化が誕生・発展しました。『鬼滅の刃』でも、数多くの女性が活躍しています。大正文学を例に、女性文化や女性の社会進出について共に考えていきましょう。</p>					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 ( 2人) 定員超過の不許可は選考により決定					
	② 不許可・不開講通知日 (7月9日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月10日(土)以降の開講科目は6月末まで)					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと オンライン (同時・録画) の使用ソフトなど 男子受入可					
11. 開設大学への 交通手段	<a href="http://www.enica.jp/">http://www.enica.jp/</a> 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。  
コロナ禍の影響により、対面講座の不開講・休講またはオンライン (同時・録画) へ変更になる場合があります。